

## 第 92 回 埼玉県内企業経営動向調査－2015 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 569 社                      調査方法：アンケート方式（8月上旬 郵送回収）  
 回答企業：293 社（回答率 51.5%）          業種別内訳：製造業 177 社      非製造業 116 社  
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2015 年 5 月 15 日	119.38	19,732.92
(今回)2015 年 8 月 14 日	124.41	20,519.45

### 概況

～調査は 8 月 14 日までのもので、下旬の株価急落の影響は含んでいない～

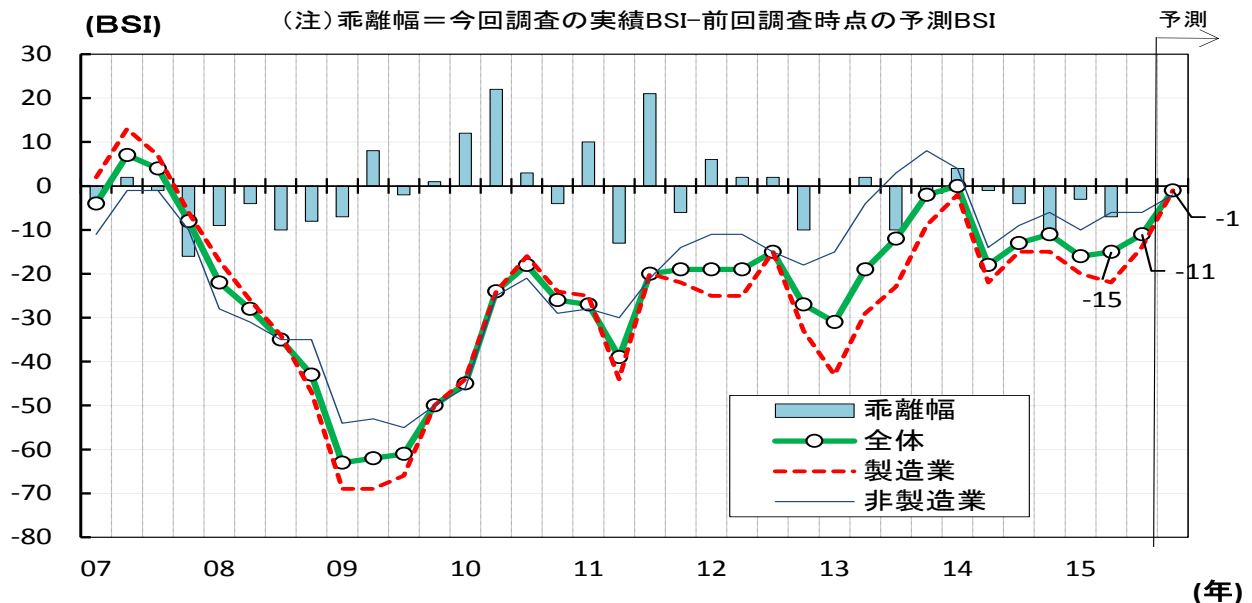
埼玉県内企業の業況感は、足踏みが続いていたが、今回（2015 年 7～9 月期）の業況判断 BSI は-11 で、前回（4～6 月期）に比べ 4 割と若干持ち直している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）ともに持ち直している。

業種別にみると、製造業は持ち直している。生産高が減少している鉄鋼・非鉄金属や輸送用機械が低調に推移しているものの、スマートフォン向けなどへの部品需要が増加している電気・情報通信機械器具や電子部品・デバイスなどが持ち直している。非製造業は、建設関連が後退しているものの、卸売、小売などが持ち直し、横ばいとなっている。

先行き（2015 年 10～12 月期）の業況判断 BSI は-1 とマイナス幅が大幅に縮小、持ち直す見通しとなっている。原油価格の低下、原材料価格上昇の一服に加え、国内の年末に向けた需要への期待によるものと考えられる。業種別にみると、製造業は、化学・プラスチック、金属製品、一般機械器具、精密機械が生産高の増加からプラスに転じるなど、多くの業種が持ち直す。非製造業では、一般建設などが回復、自動車関連などの小売が持ち直す見通しとなっている。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~若干持ち直し~

埼玉県内企業の業況感は、足踏みが続いていたが、今回(2015年7~9月期)の業況判断 BSI は-11で、前回(4~6月期)に比べ4ポイント若干持ち直している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)ともに持ち直している。

業種別にみると、製造業は持ち直している。生産高が減少している鉄鋼・非鉄金属や輸送用機械が低調に推移しているものの、スマートフォン向けなどへの部品需要が増加している電気・情報通信機械器具や電子部品・デバイスなどが持ち直している。非製造業は、建設関連が後退しているものの、卸売、小売などが持ち直し、横ばいとなっている。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2014年				2015年				2015年 10~12月 (先行き)
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	前回予想	
<b>全体</b>	<b>0</b>	<b>-18</b>	<b>-13</b>	<b>-11</b>	<b>-16</b>	<b>-15</b>	<b>-11</b>	<b>-11</b>	<b>-1</b>
100人未満	-3	-18	-14	-15	-19	-20	-15	-18	-7
100人以上	4	-19	-11	-6	-13	-11	-6	-4	5
<b>製造業</b>	<b>-2</b>	<b>-22</b>	<b>-15</b>	<b>-15</b>	<b>-20</b>	<b>-22</b>	<b>-14</b>	<b>-11</b>	<b>-1</b>
100人未満	-9	-25	-22	-20	-26	-29	-15	-15	-7
100人以上	6	-18	-8	-9	-13	-15	-13	-7	6
<b>素材型</b>	<b>0</b>	<b>-21</b>	<b>-15</b>	<b>-6</b>	<b>-17</b>	<b>-27</b>	<b>-23</b>	<b>-7</b>	<b>-3</b>
紙加工品等	25	-10	0	-17	-9	-33	-8	-8	-8
化学・プラスチック・ゴム製品	-42	-50	-46	-17	-31	-17	-17	-8	8
鉄鋼・非鉄金属	-29	-8	-19	8	-14	-38	-38	-8	-8
金属製品	23	0	27	10	-17	-31	0	8	15
その他素材型	20	-31	-33	-13	-14	-18	-42	-18	-16
<b>加工組立型</b>	<b>-3</b>	<b>-16</b>	<b>-7</b>	<b>-6</b>	<b>-14</b>	<b>-18</b>	<b>-6</b>	<b>-4</b>	<b>6</b>
一般機械器具	17	13	5	-24	-15	-16	-15	0	17
電気・情報通信機械器具	-7	-33	-8	-10	-20	-33	-7	-8	-7
電子部品・デバイス	-57	-25	-7	18	-8	-8	29	8	14
輸送用機械	0	-31	-14	-36	-46	-31	-36	-15	-9
精密機械	31	-9	-14	23	15	0	0	-8	8
<b>生活関連型</b>	<b>-4</b>	<b>-42</b>	<b>-35</b>	<b>-45</b>	<b>-33</b>	<b>-22</b>	<b>-12</b>	<b>-30</b>	<b>0</b>
飲・食料品	25	-33	8	-40	-17	-18	21	-9	14
印刷・同関連業	-36	-50	-77	-50	-50	-25	-50	-50	-17
その他製造業	0	-17	-33	-80	-50	-14	-14	-43	-43
<b>非製造業</b>	<b>4</b>	<b>-14</b>	<b>-9</b>	<b>-6</b>	<b>-10</b>	<b>-6</b>	<b>-6</b>	<b>-11</b>	<b>-2</b>
100人未満	5	-6	-2	-8	-8	-7	-15	-22	-7
100人以上	2	-20	-17	-4	-11	-5	4	0	4
一般建設	21	16	29	22	16	16	0	-5	14
住宅建設	-31	-27	-31	-8	-8	-23	-33	-38	-42
卸売	0	-21	-29	-29	-36	-22	-6	-28	-19
小売	21	-38	-12	-19	-26	-21	-19	0	-5
運輸・倉庫	-8	-27	-15	-8	-17	8	8	-8	8
不動産	0	-8	-17	-17	0	9	8	0	15
その他非製造業	0	13	7	11	0	0	0	0	6

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転化～

製造業では、紙加工品等、金属製品でマイナス幅が縮小、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスなどがプラスとなっている。非製造業は、住宅建設、卸売、小売がプラスに転じている。先行きは、製造業は鉄鋼・非鉄金属、輸送用機械もプラスへと回復し、非製造業では、運輸・倉庫、不動産でプラス幅が拡大する見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	-11	-13	3	21
製造業	-19	-14	-5	21
非製造業	2	-10	16	21
規模の小さい企業	-15	-18	1	19
規模の大きい企業	-8	-8	6	23

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラスに転化～

製造業では、金属製品、電気・情報通信機械器具でマイナス幅が縮小、電子部品・デバイスなどがプラスに転じている。非製造業では卸売、小売などがプラスに転じている。先行きは、製造業では、鉄鋼・非鉄金属、輸送用機械がプラスに転じ、非製造業では運輸・倉庫、不動産などでプラス幅が拡大する見通しである。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	-13	-15	-3	13
製造業	-20	-18	-13	11
非製造業	-3	-10	11	15
規模の小さい企業	-20	-22	-8	10
規模の大きい企業	-7	-8	1	15

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でプラス幅拡大～

製造業では、一般機械器具、電子部品・デバイスがプラスに転じている。先行きは輸送用機械がプラスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	10	5	9	8
製造業	14	7	12	8
非製造業	2	0	2	6
規模の小さい企業	5	6	14	5
規模の大きい企業	14	4	5	10

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で僅かに過剰～

製造業では素材型や加工組立型で僅かながら過剰となっている。一方、非製造業では、運輸・倉庫などで不足感がみられる。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	3	3	2	-2
製造業	6	5	3	1
非製造業	-3	0	-1	-6
規模の小さい企業	4	4	5	-2
規模の大きい企業	1	2	-2	-2

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強まる～

製造業では化学・プラスチック・ゴム製品、鉄鋼・非鉄金属、精密機械などで不足感がみられる。非製造業では不動産を除く多くの業種で不足感がみられ、一般建設、運輸・倉庫などで不足感が強まっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	-20	-12	-18	-23
製造業	-6	-1	-2	-10
非製造業	-39	-26	-40	-41
規模の小さい企業	-10	-2	-12	-18
規模の大きい企業	-28	-21	-24	-28

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～ほぼ横ばい～

製造業は鉄鋼・非鉄金属、電気・情報通信機械器具で、非製造業は卸売で厳しさがみられる。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 15年1～3月期	(前回調査) 15年4～6月期	(今回調査) 15年7～9月期	(先行き) 15年10～12月期
全体	1	3	4	5
製造業	1	4	3	7
非製造業	1	2	4	1
規模の小さい企業	-13	-6	-6	-4
規模の大きい企業	14	11	13	13

(以上)